

科目名	子どもの保健					単位	2.0
担当教員	平野 仁美						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	3116

●授業のテーマ

子どもの身心の健康を守る基礎知識を身につける

●到達目標

子どもの健やかな育ちを支える社会的な仕組みを理解するとともに、誕生から就学年齢に至るまでの心と体のケアに関する基礎知識を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

成長・発達途上にある子どもは、様々な面で未熟であり、事故の危険性や病気にかかる可能性がある。子どもの心身の発達のみならず子どもを取りまく人・自然・文化・社会・教育環境の時代的変遷を理解し、統合できる力を身につける必要性が保育者には求められている。

誕生から就学年齢に至るまでの各段階において大人が行うべき心と体のケアに関する基礎知識を学ぶとともに、集団保育における保健活動の学びを深める。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション(授業の進め方)
集団保育の場の保健について
2. 子どもの発育を知ろう
3. 子どもの発達を知ろう
4. 子どもの健康状態を知ろう
5. 日常における養護の方法
6. 子どもの保育環境づくり
7. 子どもがよくかかる病気について
8. 保育の場でよくおこる事故について
9. 保育現場の事故防止と安全対策
10. 危機管理ワークシート作成(乳児用)
11. 危機管理ワークシート作成(幼児用)
12. いざというときの応急処置について
13. 慢性疾患や障がいを持つ子の保育について
14. 子どもの生活習慣について考えてみよう
15. 世界の子どもの保健をながめてみよう

●準備学習・事後学習の内容

- ・授業に参加する前に教科書をよく読んでおく。
- ・事後学習として、授業内で学んだ事をノートに整理しておく。

●成績評価方法・基準

- ・筆記試験(50%)
- ・学びの振り返り(15%)

- ・学びまとめノート提出（20%）
- ・授業参加態度（15%）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：これならわかる！「子どもの保健演習ノート」子育てパートナーが知っておきたいこと、
著者名：（監修）榊原洋一（執筆）小林美由紀、出版社：診断と治療社、販売先：（株）D○

●参考文献／その他

- ・「子どもの保健Ⅰ」（著者）佐藤益子他 ななみ書房
- ・改訂「保育の中の保健」幼稚園・保育所での保健指導の理論と実践
巷野悟郎・高橋悦治楼（編）萌文書林
- ・「子どもの保健Ⅰ」一心身の発達・健康と安全—山崎知克（編著）
健帛社
- ・「子どもの保健—理論と実践—」
天野敦子、小林壽子、白石淑恵、他著 日本小児医事出版
- ・「国民の衛生の動向」財団法人厚生統計協会

※必要に応じ授業内で資料プリント配布

●履修上の注意

- ・欠席しないように努力する
- ・意欲的に学ぶ